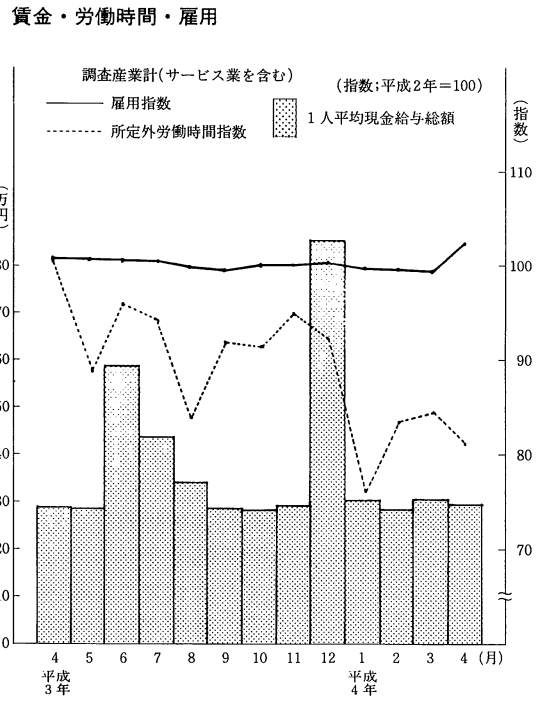
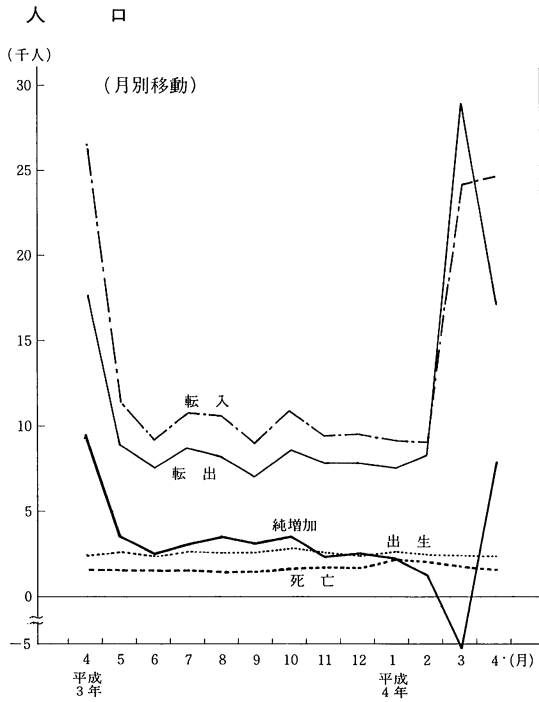
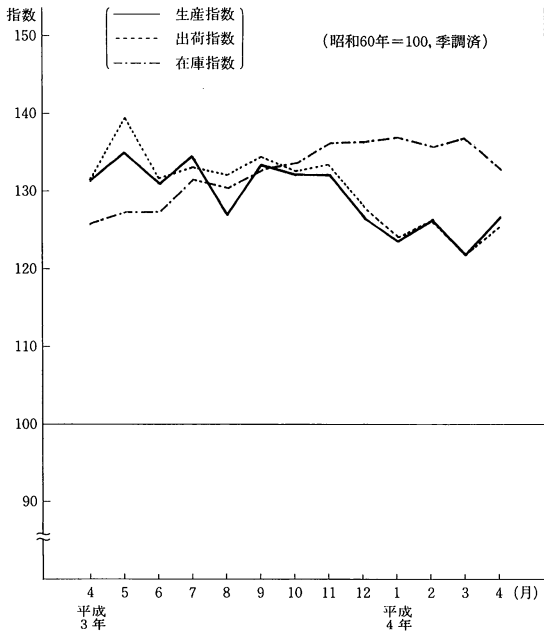


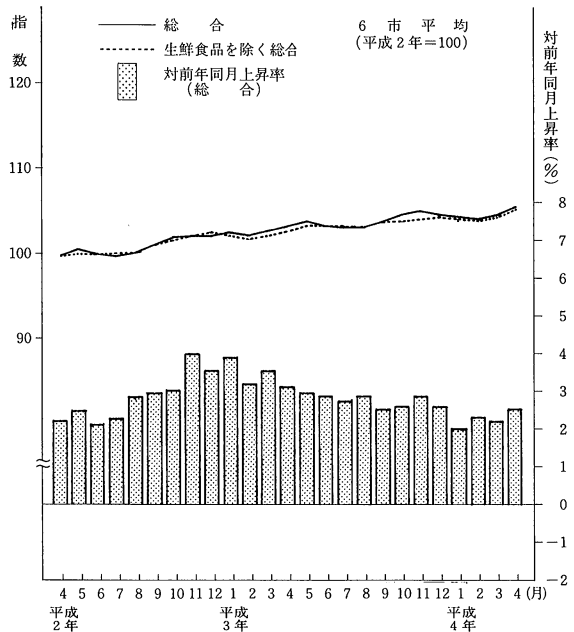
# 今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



## 主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

### ■ 人 口 (5月1日)

本県の人口は、4月中に7,865人増加し、5月1日現在で2,892,967人(男1,444,662人、女1,448,305人)となった。

内訳は、自然動態で641人(出生2,224人、死亡1,583人)増加し、社会動態で7,224人(転入24,408人、転出17,184人)増加した。前年同月と比べると30,919人(1.08%)の増

加である。

市町村別では、増加が15市44町村、減少が5市23町村である。

世帯数についても4月中に8,246世帯増加し869,421世帯となった。

### ■ 賃金・労働時間・雇用 (4月)

#### 1. 平均賃金の推移

4月の現金給与総額は、調査産業計で290,715円、対前年同月比0.9%増、このうちきまって支給する給与は285,554円、対前年同月比1.2%増であった。また、このうち所定内給与は257,553円、対前年同月比3.5%増であり、超過労働給与は28,001円、対前年同月比15.7%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比2.0%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

#### 2. 労働時間

4月の総実労働時間は、調査産業計で174.5時間、対前年同月比3.5%減であった。このうち所定内労働時間は158.7時間、対前年同月比1.7%減、所定外労働時間は、15.8時間、対前年同月比19.0%減であった。

#### 3. 雇用の動き

4月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.4%増であった。

### ■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (4月分)

本県における平成4年4月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が126.4、出荷が125.3、在庫が133.1で、前月比は、生産が3.7%の上昇、出荷が2.7%の上昇、在庫が△2.8%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△3.7%の低下、出荷が△4.6%の低下、在庫が6.1%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、化学工業、鉄鋼業、輸送機械工業等が上昇し、精密機械工業、繊維工業、金属製品工業等が低下した。出荷では、化学工業、鉄鋼業、輸

送機械工業等が上昇し、精密機械工業、電気機械工業、鉱業等が低下した。在庫では、鉱業、パルプ・紙・紙加工品工業、プラスチック製品工業等が上昇し、精密機械工業、化学工業、金属製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、資本財が低下した。出荷では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財が低下した。在庫では、その他用生産財が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。

### ■ 消費者物価指数 (4月)

平成4年4月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.5(平成2年=100)となり、前月比1.0%の上昇、前年同月比2.5%の上昇となった。

今月上がった主な項目……シャツ・下着5.4%、野菜・海草4.7%、授業料等4.2%、保健医療サービス3.6%、上下水道料3.1%、設備修繕・維持2.9%、その他2.7%

今月下がった主な項目……果物1.9%、調理食品1.8%  
生鮮食品を除く総合は105.1となり、前月比0.9%の上昇、

前年同月比2.6%の上昇となった。

#### 費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	105.8	0.3	2.3	保健医療	102.5	0.2	2.6
食 料	107.2	△0.6	2.3	交通通信	99.9	0.0	△0.4
住 居	109.1	1.4	5.4	教 育	105.8	0.0	3.1
光熱・水道	102.9	0.0	0.5	教養娯楽	107.5	0.3	2.9
家具・家事用品	101.3	0.3	1.2	諸 雑 費	103.2	0.2	2.1
被服及び履物	108.6	1.9	1.2	生鮮食品を除く総合	105.6	0.5	2.5